

【回復フェーズ（みやぎ観光回復戦略（仮）原案26ページ記載の「観光需要の回復フェーズ」に基づく】



(1) マイクロツーリズムなどの域内流動の促進

- ①圏域内の地域ごとに対象を絞った誘客促進の取組 (1) (2)
- ②宮城-山形間の相互交流を促進する取組 (1) (2) (3)
- ③公共施設等の無料化により冬季の街歩きを促進する取組 (1) (2)
- ④デジタルスタンプラリー（周遊型・在宅型）により誘客を促進する取組 (1) (2)

(2) 地域の魅力に対するシビックプライドの醸成

- ⑤東北 DC に向けて圏域内の観光素材を発掘し、磨き上げる取組 (1) (2) (2)
- ⑥県内外住民から観光素材を募集し、その魅力を発信する取組 (1) (2) (3)

(3) ビジネスモデルの転換に対応した新たな観光の推進

- ⑦宿泊施設の活用を促進する地域観光グループの形成・展開を支援する取組 (1) (2) (1) (2) (3) (1)
- ⑧Wi-Fi・5G の環境整備を支援する取組 (2) (1)

取 組	概 要	該当するみやぎ観光回復戦略（仮）の視点						エ リ ア	主 な 対 象	着 手 時 期	予 算 額	
		1 (1)	1 (2)	2 (1)	2 (2)	2 (3)	3 (1)					3 (2)
①圏域内の地域ごとに対象を絞った誘客促進の取組	圏域内を複数のブロックに分け、各地域の特色に応じた企画(スタンプラリー等)を実施し、誘客促進を図る。(R2年度：黒川地域)			●	●				仙台圏域	県内外観光客	令和2年 9月	490千円 (令和2年度)
②宮城-山形間の相互交流を促進する取組	文化面・交通面での結びつきが強い宮城県-山形県合同の特産品販売会等を支援することで、相互交流をさらに深める。			●	●	●			県全域/ 仙台圏域	県内外観光客 (特に宮城・山形両県)	令和2年 9月	323千円 (令和2年度)
③公共施設等の無料化により冬季の街歩きを促進する取組	冬季の街歩きを促進するため、県有公共施設等（東北歴史博物館、宮城県美術館など）を無料化する。			●	●				県全域/ 仙台圏域	県内外観光客 (特に宮城県民)	—	(要求)
④デジタルスタンプラリー（周遊型・在宅型）により誘客を促進する取組	コロナ禍でも安全に参加可能な在宅型も併用した県内観光施設等を巡るデジタルスタンプラリーを実施することで、誘客促進を図る。			●	●				県全域	県内外観光客	—	(要求)
⑤東北 DC に向けて圏域内の観光素材を発掘し、磨き上げる取組	圏域内にある"知る人ぞ知る"観光素材を発掘・再発見して磨き上げ、定番モデルコースへの肉付け等により東北 DC を機に周知する。			●	●			●	仙台圏域	観光事業者(発掘・磨き上げ) 県内外観光客(周知)	令和2年 9月	810千円 (令和2年度)
⑥県内外住民から観光素材を募集し、その魅力を発信する取組	本県にある魅力的な観光素材を広く募集し、デジタル等の投票を実施することで、地域の魅力を再発見し、その発信を図る。			●	●	●			県全域	県内外住民・観光客	—	(要求)
⑦宿泊施設の活用を促進する地域観光グループの形成・展開を支援する取組	宿泊施設を活用した観光振興（ワーケーション・デジタルでの商談会・就職相談会・交流プログラムの実施等）を目指すグループの形成を促進し、その事業展開を支援する。	●	●	●	●	●	●		県全域	宿泊(必須), 飲食, 物販, 交通, レジャーなどの振興を図る事業者	—	(要求)
⑧Wi-Fi・5G の環境整備を支援する取組	デジタル変革や将来的なインバウンド需要へ対応するため、街歩きモデルエリアにおける Wi-Fi や 5G の環境整備を支援する。		●				●		県全域/ 仙台圏域	観光協会・商工会等	—	(要求)

【みやぎ観光回復戦略（仮）基本理念】

デジタル変革に対応した新たなビジネスモデルを創出し、持続可能で選ばれる観光地をつくる

視点1 安全・安心の機運の醸成と可視化により、選ばれる観光地をつくる

(1) 観光地として選ばれるための安全安心の対策とその見える化 (2) 入国制限緩和を見据えたインバウンドへの取組

視点2 回復フェーズに応じた取組を推進するとともに、観光資源の魅力を再発見し、地域と旅行者の関係を深める

(1) 社会経済活動の回復フェーズに応じた取組の推進 (2) 地域の魅力の再発見と旅行者の受入体制の構築 (3) 交流人口の拡大に加えて関係人口の拡大へ

視点3 ニューノーマルに適応したビジネスモデルに転換し、新たな観光を創出する

(1) 新しい価値観からみやぎの新しい観光創出へ (2) みやぎにしかないアドバンテージ（東北 DC, 東京オリパラ, 復興10年）を活かす